

施設名	医療法人社団美心会 黒沢病院附属ヘルスパーククリニック		
所在地	群馬県高崎市矢中町188	調査日	2016/1/27
管理方法	① 施設にて管理 2. 業者委託 3. その他 (ボランティア)		
活動回数	毎月の継続的な活動の場合 (25) 回/月 年1回等の断続的な活動の場合※1 (--) 回/年		
手入れをしている人	① 施設職員 2. 患者さん 3. ボランティア 4. 委託業者 5. その他 (リハビリスタッフ)		
導入時期	昭和52年頃から		
導入のきっかけ	① 職場環境を改善する一環 ④ 施設の印象をよくするため ② 植物の効用を期待して 5. 地域団体活動の一環として 3. 知人のすすめ・贈り物 6. その他 ()		



【導入】

- ・当法人副理事長の実母が危篤の際、入院先で飾られていた花きが枯れている様子が死を予感させた。患者様やご家族にそのような思いをさせたくない、また美しい花をみて希望を持ってほしいとの思いから開院以来、館内に生花を飾り続けている。

【管理】

- ・花瓶の花は基本的に毎日換えている。毎朝職員が日替わりで花活けをし、カートで各所に設置し、清潔面や鮮度を保っている。
- ・鉢植えは、各エリアのスタッフ内に責任者を設け、日々管理を行っている。
- ・全体管理は営繕担当の庶務部がメンテナンスを担当している。

●患者様への癒しの効果

- ・「院内を彩る新鮮な生け花を見て、患者様が生き続けようと思いを燃やしてくれたなら、医療人としてこんなに嬉しいことはない」と理事長・副理事長の患者様への深い思いから、開院以来約40年に渡り休むことなく毎朝生花を活け替え、飾り続けてきた。
- ・一日約400名の外来患者様が、玄関に入った時にまず目にするのが、大きな生花のアレンジメント。受付へと進む前に立ち止まって、「ああきれいね。お花はすごくいいね。見ていて気持ちが清々する」などと口々に話され、花にまつわるコミュニケーションや笑顔がみられる。患者様が院内のお花を求めて「お散歩ツアー」をされる姿もよく見られ、病気の時こそ花卉の癒し効果が必要であると実感できる。
- ・また、毎朝女性職員がエプロン姿で生花を飾る姿を見て、優しさや癒しを感じてくださる患者様も多数おられる。

●生花で治療の場の緊張をほぐすように

- ・女性専用の乳腺外来で、乳がんの治療への不安や緊張を少しでも緩和させたいと、優しいイメージの花を選んで飾っている。患者様から「お花を見るとホッと、緊張もほぐれますね」と感想を寄せていただいている。

院内120箇所に花を飾ってます！

患者様を生花で出迎える



【外来入口正面】

寄せ植え (台の高さは700mm)
バスケット300mm (W)×1500
(H)バスケット含



【問診コーナー(後ろ側)】

寄せ植え (台の高さは1100mm)
バラ・ヒペリカス・アリストロメリア・
ストック・ランタンキュラス

施設名	医療法人社団美心会 黒沢病院附属ヘルスパーククリニック		
所在地	群馬県高崎市矢中町188	調査日	2016/1/27



●患者様のストレス発散効果とリハビリ効果

- ・「治療の場こそ、癒しと安らぎの環境が大切。花の力が回復の支えになって欲しい」と、週1回患者様を対象に「お花クラブ」を開催している。病気や障害のある患者様は、ストレスも多い。花が好きであっても花活けの機会を得ることは少ないので、生花をたくさん並べ、好きな花を選んで自由に活けるお花クラブは人気が高い。
- ・花を活けることは、目で楽しみ、指先やハサミを使うなどの他、無心になれる時間を持つことができ、ストレス発散効果が得られている。また、参加回数を重ねるたびに最初は話をしなかった認知症の患者様が話すようになったり、緊張の強かった人が、笑顔をみせコミュニケーションを弾ませるようになるなど、温かい人間関係づくりにも寄与している。
- ・また、作品そのものも上達していくので、生花を用いた「お花クラブ」は患者様の機能や能力を高め、リハビリ効果も期待されている。

お花クラブ



[相談コーナー]



バラ寄せ植え：花瓶 (W)100×(H)400
 アンズリウム：鉢120mm (W)×550mm (H)
 手作りドライフラワー 800mm (W)直置

[グランドピアノ前の花 直置き]



(左) ゴールドラッシュ [黄] : 120mm
 (中) ラッキーフラワー (あんみつ姫) : 1150mm
 (右) シンビジウム : 650mm (H)

[受付カウンター(薬局コーナー)]



ストック(濃桃)・チース(紫)・ドラセナ・
 プバルティア(白)・アリストロメリア(桃)
 ・スイセン(白)

[乳腺外来待合]



・バラ(黄)・バラ(白)・サンダーソニア(黄)
 花瓶80mm (W)×470mm (H)花瓶含

●職員に命の大切さと文化を伝える

- ・女性事務職員が日替わりで、早朝花活けを行うなかで、患者様と自然に会話が弾み、コミュニケーションの向上につながっている。
- ・またその日の花への思いの表し方で、今日の体調や感情の把握ができる常連の患者様もいらっしゃる。職員自身が美しい花に直接触れ、「命の大切さ」を学び、生花による「生きる力」と「癒しの効果」を得ることで、それが接遇やホスピタリティーの向上にも大きな効果を発揮している。
- ・さらに、花活けを通じて「文化」に触れることで、職員の品格や教養、人間力の向上にもつながっていると感じている。

[中庭ライトコート 直置き]



ユッカ(青年の樹) × 2 : 2400mm (H) 鉢含
 オリーブ : 4500mm (H) 鉢含
 寄せ植え(アイビー、オリズラン、ピラカンサ)

[西玄関(ドック・フィットネス入口)]



右から
 ウンベラータ 直置き : 1800mm (H) 鉢含
 コンシンネ 直置き : 1600mm (H) 鉢含 他

[西玄関(ドック・フィットネス入口)]



(左) クマテ 直置き : 2500mm (H) 鉢含
 (右) ドラセナ 直置き : 2100mm (H) 鉢含

[歯科待合]



胡蝶蘭 : 850mm (H) 鉢含
 ドラセナ : 600mm (H) 鉢含

[スタジオ前待合]



ポインセチア : 450mm (H) 鉢含
 (テーブルの高さ700mm)

[建物南側植栽]



ソテツ 1450 (H)
 トキワマンサク 2050 (H)